

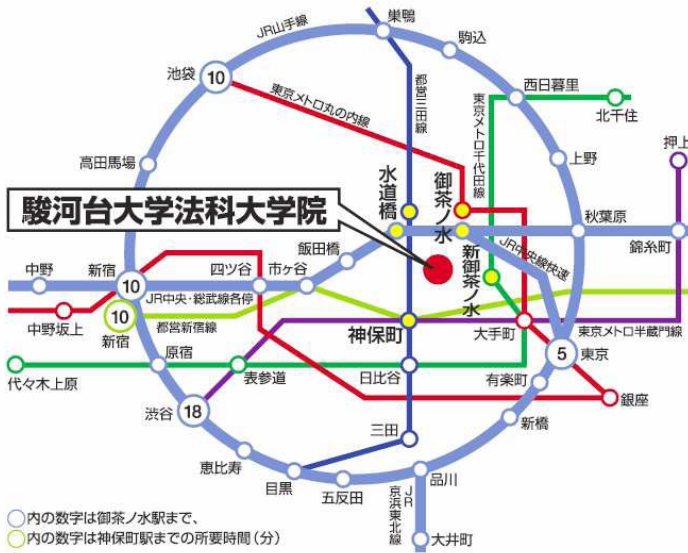
日本環境心理学会 第8回大会

日時：2015年 3月14日（土） 9:30～17:15

場所：駿河台大学お茶の水キャンパス 701教室、702教室

参加費： 1,000円（会員、非会員）、500円（大学院生）





- JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」より徒歩約5分
- JR総武線「水道橋駅」より徒歩約5分
- 都営三田線・地下鉄半蔵門線「神保町駅」より徒歩約7分
(地図上の■印は関連教育機関です。)

※本校舎は坂の途中に建っています。車椅子等
でお越しの方は、安全のため、自動車で地下
車寄せへお越しください。
校内内はすべてバリアフリーです。

○受付 9:30~ (7F, 701 教室)

○ワークショップ 10:00~12:00 (7F, 701 教室)

『居住環境に関する環境心理学的研究の試み』

話題提供者 1) 畑 倫子 (文京学院大学)

2) 呉 宣児 (共愛学園前橋国際大学)

指定討論者 1) 高山 範理 (独立行政法人森林総合研究所)

2) 小俣 謙二 (駿河台大学)

○運営委員会 12:00~13:15 (4F, 会議室)

○総会 13:15~14:00 (7F, 701 教室)

○口頭発表 14:00~17:15 (7F, 701 教室)

セッション1 14:00~15:30 座長(予定): 未定

1) 森林の映像と香りがもたらす癒し効果について

栗原美季, 畑倫子
文京学院大学人間学部

2) 注意回復理論に基づいた都市公園の回復的環境としての機能の評価

中島悠輔*, 大黒俊哉**, 土屋一彬**
* 東京大学農学部, ** 東京大学大学院農学生命科学研究科

3) 近隣の自然量と自然との心理的つながりの関係について

芝田 征司
相模女子大学人間社会学部

4) 場所アイデンティティ生成に関わる居住地域の対象化

所谷茜, 大野隆造
東京工業大学総合理工学研究科

5) 里海の心理的範囲の特定: 場所の愛着を指標として

太田貴大・上原拓郎・仲上健一
立命館大学 政策科学部

6) 将来の住替え希望地の選好と都市空間的変数との関連

刀根令子
東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻

休憩 15:30~15:45

セッション2 15:45~17:15 座長(予定): 芝田征司(相模女子大学)

7) パブリックアートおよび植物が都市景観の印象に与える影響

本山友衣*, 羽生和紀**
* 日本大学大学院, ** 日本大学文理学部

8) 超臨場感テレワーク環境の評価に関するテーマ

櫻井広幸
立正大学心理学部

9) 暗さプライミングが創造性に与える影響

大谷 華

立教大学

10) 犯罪者の環境認知と犯罪行動

岩倉 希*, 雨宮 護**, 羽生和紀*

* 日本大学文理学部, ** 筑波大学システム情報系

11) 性犯罪の発生場所と、被害者・加害者属性との関係

島田貴仁*, 宮脇かおり**

* 科学警察研究所犯罪行動科学部, ** 京都府警察本部刑事部科学捜査研究所

12) 青パト防犯活動による地域の犯罪に対する抵抗性醸成効果の検討—ソーシャルキャピタルの視点から—

杉野弘明*, 三崎輝寛**, 大石太郎***, 有馬隆文****

* 福岡工業大学総合研究機構, ** 広島市役所, *** 福岡工業大学社会環境学部, **** 九州大学大学院人間環境学研究院